

平成 30 年度 事務事業評価(平成29年度実施事業事後評価)シート / 平成 31 年度 実施計画調書 (  新規  拡充  縮小  休止・廃止  現状維持 )

1 事務事業の基本情報														位置付けられている計画等で『その他の計画』が複数ある場合は、代表的なものを1つ記入してください。また、該当する根拠法令及び市条例等が複数ある場合、代表的なものを1～2個記入してください。																					
事務事業名		施設整備事業費				補助区分		<input type="checkbox"/> 国補 <input type="checkbox"/> 県補 <input checked="" type="checkbox"/> 市単		終期		<input type="checkbox"/> 決まっている (平成 年度まで) <input checked="" type="checkbox"/> 決まっていない		予算科目		区分		一般会計		款		9		項		1		目		3		事業		1	
担当部		市長公室		担当課		防災危機管理課				担当係		消防		係		作成者		中嶋 德行		内線(電話番号)		2230		シート作成日		H30.10.22		部長決裁日		H30.10.23					
位置付けられている計画等		<input checked="" type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画				<input type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」				<input type="checkbox"/> 市民等からの要望		根拠法令及び市条例等		<input type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称: )		<input type="checkbox"/> 国・県からの通達等 (名称: )		<input type="checkbox"/> 市の条令・要綱・規則等 (名称: )																	

2 事務事業の目的														当該事業を実施することで、①「望ましい状態」とはどのような状態か? → ②一方で、「現状や課題」はどうか? → ③そのためには何をすべきか? という過程で考えていただいても結構です。													
現状課題		消防団は「自らの地域は自ら守る」という郷土愛護の精神に基づき、地域の消防力、防災力の中核として地域の安心・安全を守るとともに、日頃から地域コミュニティの維持及び活性化にも大きな役割を果たしている。 現在、消防自動車や消防詰所の老朽化が課題となっている。				誰・何を対象に		消防団				どのような方法・手順で		計画的に消防自動車の更新、消防詰所の建て替え、また消火栓、防火水槽の設置を行っていく。				望ましい状態		消防団員の活動環境を良好にすることにより、活動能力の向上や安全管理の観点に加え、消防団への興味を喚起し、さまざまなルートからの入団を促す効果も期待でき、地域の消防力、防災力の充実につながる。							

3 事務事業の主たる成果指標														数値目標(定量)の設定が困難な場合は、文言目標(定性)でも結構です。なお、指標名・目標値とも設定が困難な事業は空欄でも結構ですが、この場合、設定できない理由を分かりやすく・具体的に記入してください。													
指標名		消防水利		単位		基		目標値		目標年次		平成		年度		指標及び目標値設定の考え方(又は指標・目標値を設定できない場合の理由)		目標値は設定しないが、消防水利について、消火栓、防火水槽を計画的に設置しており、水利が増えれば消防・防災力も向上する。									

4 事務事業の実績 ㉑														当該事業の予算を使って、『どのような業務をどの程度実施したか。』を記入してください。なお、業務が12個以上ある場合、代表的なものを最大12個記入してください。																	
年度		平成27年度				平成28年度				平成29年度				業務名		活動量		業務名		活動量		業務名		活動量							
事務事業を構成する主な業務		① 消防自動車更新業務		1事務		① 消防自動車更新業務		1事務		① 消防自動車更新業務		1事務		① 消防自動車更新業務		1事務		① 消防自動車更新業務		1事務		① 消防自動車更新業務		1事務							
		② 消防詰所建て替え業務		1事務		② 消防詰所建築業務		1事務		② 消防詰所建築業務		1事務		② 消防詰所建築業務		1事務		② 消防詰所建築業務		1事務		② 消防詰所建築業務		1事務							
		③ 消火栓設置業務		1事務		③ 消火栓設置業務		1事務		③ 消火栓設置業務		1事務		③ 消火栓設置業務		1事務		③ 消火栓設置業務		1事務		③ 消火栓設置業務		1事務							
		④ 防火水槽設置業務		1事務		④ 防火水槽設置業務		1事務		④ 防火水槽設置業務		1事務		④ 防火水槽設置業務		1事務		④ 防火水槽設置業務		1事務		④ 防火水槽設置業務		1事務							
		⑤				⑤				⑤				⑤				⑤				⑤									
		⑥				⑥				⑥				⑥				⑥				⑥									
		⑦				⑦				⑦				⑦				⑦				⑦									
		⑧				⑧				⑧				⑧				⑧				⑧									
		⑨				⑨				⑨				⑨				⑨				⑨									
		⑩				⑩				⑩				⑩				⑩				⑩									
		⑪				⑪				⑪				⑪				⑪				⑪									
		⑫				⑫				⑫				⑫				⑫				⑫									
決算額		計		38,204,396 円		内訳		特定財源 0 円		一般財源 38,204,396 円		計		63,766,255 円		内訳		特定財源 0 円		一般財源 63,766,255 円		計		76,790,432 円		内訳		特定財源 0 円		一般財源 76,790,432 円	
				(住民一人あたりの行政コスト)		618 円				(住民一人あたりの行政コスト)		1,049 円				(住民一人あたりの行政コスト)		1,270 円													

5 担当者評価 ㉒														実施したことによる成果や問題点を記入してください。													
成果		ほぼ目標どおり		成果内容		消防自動車の更新、消火栓、防火水槽の設置については、計画どおり実施できている。消防詰所の建て替えについては、遅れているものの計画的に進んでいる。				問題点		手続きが複雑な上、専門的な知識が求められるため、他課への協力が必要である。															

6 担当部長及び担当課長評価 ㉓														担当部長・課長で協議のうえ、評価してください。													
事務事業の方向性		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		評価理由		市民の生命・財産を守る上で、老朽化している詰所、消防車両については計画的な更新が必要である。また、消火栓の新設は火災防ぎよの上で必要であるが、消火栓については水道管の口径が小さい場合には水量の問題もあり、今後は老朽化した防火水槽の更新も考える必要がある。																					

7 実施計画 ㉔														今後3年間の事業内容について、どのようなことを実施していくつもりなのか、具体的に記入してください。なお、予算額の『歳出の計』と『歳入の計』は一致させてください。													
年度		平成30年度				平成31年度				平成32年度				事業内容		消防詰所建築業務 消火栓設置業務 防火水槽設置業務											
事業内容		消防詰所建築業務 消火栓設置業務 防火水槽設置業務				消防自動車更新業務 消防詰所建築業務 消火栓設置業務 防火水槽設置業務				消防自動車更新業務 消防詰所建築業務 消火栓設置業務 防火水槽設置業務																	
		歳出		計		40,855 千円		歳出		計		135,000 千円		歳出		計		103,000 千円									
				特定財源		0 千円				特定財源		0 千円				特定財源		0 千円									
		歳入		計		40,855 千円		歳入		計		135,000 千円		歳入		計		103,000 千円									
		一般財源		40,855 千円				一般財源		135,000 千円				一般財源		103,000 千円											
		計		40,855 千円				計		135,000 千円				計		103,000 千円											

8 財務アドバイザーの見解													
『常総市財政健全化計画』では、平成29～31年度までの3年間で約20億円の財源不足が生じる可能性が指摘されている。この厳しい財政状況を鑑み、本事務事業は平成31年度の当初予算の要求において、その一般財源金額については費用対効果が最も高いと判断された平成27年度の一般財源決算額の金額以下の予算要求を行うべきである。当該金額の枠内で最大の効果を発揮する、市民目線の筋肉質な事務事業の計画と実行を期待する。													

9 行政改革懇談会(市民)の意見													
担当部長及び担当課長評価のとおりでよい。特に、消防団員確保の為に、働く場所の整備は必要不可欠のため、消防詰所の建て替え、消防自動車等の更新、消防等の設備については優先的に取り組むべきである。													

10 最終評価(行政改革推進本部) ㉕													
事務事業の方向性		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		評価理由		防災先進都市を目指すなかで、施設整備等は今後も取り組んでいくべきと考える。限られた財源の中で計画的に取り組んでいく。							

11 事務事業の改善理由 ㉖														実施計画のみ作成する場合の拡充・縮小・休止廃止部分もこの欄に記入してください。													
事業内容		平成30年度は、計画的に消火栓設置、防火水槽設置、詰所建て替えを進めている。																									